

B04 後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割

【受講対象】

中堅・ベテラン層

【概要】

中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を活かした後輩従業員を指導するためのコーチング法の知識と技能を習得し、職場の課題解決に向けた先導的役割を理解する。

会場：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構 愛知支部 中部職業能力開発促進センター
(ポリテクセンター中部) (小牧市下末1636-2)

講師：船木 陽子 (株式会社ランググローバル)

カリキュラム

■ 職場の課題 《1 h》	<u>職場の現状把握～人材育成と期待される人材像</u> ・ 職場の課題解決にむけて～これからの人材育成を考える
	<u>期待される人材像</u> ・ 自立型と依存型、それぞれのマネジメントについて
	<u>指導方法と育成方法</u> ・ 人をやる気にさせる指導方法～育成なくして指導なし～
■ 求められる役割 《1.5 h》	<u>職場の生産性と中堅・ベテラン従業員に求められる役割</u> ・ 共感と支援のリーダーシップ型が部下の力を最大限引き出す
	<u>職場のチームワークに必要な不可欠なEQの理解</u> ・ 5つの因子とEQのトレーニング方法～EQの伸ばし方～
	<u>上司とのコミュニケーションによる役割の確認</u> ・ 人生の四季と転機への対処、キャリア開発と目標設定の仕方
■ ティーチングを活用した指導法 《1 h》	<u>ティーチングの進め方</u> ・ 目的と心構え、アサーティブコミュニケーションを理解する
	<u>ティーチングのスキルとは</u> ・ アサーティブトレーニングの効果的な実践方法 (事例紹介)
■ コーチングを活用した指導法 《2.5 h》	<u>コーチングスキルの目的と心構え ～効果と部下の変化～</u> ・ コーチングの原則 コーチ型リーダーシップと組織風土への影響
	<u>コーチングの理解と演習 (事例検討とグループディスカッション)</u> ・ 生産性を高める指導力・リーダーシップの発揮の仕方をコーチングスキルの活用演習形式で行う (どういうかわり方で組織は強くなるのか、後輩指導力を高めるスキルの有効性を理解する) ・ 部下の問題行動などに対する指導の仕方について、事例検討 ・ 自社の課題について他社の事例を参考にグループディスカッション